

# 国際乾燥地研究教育機構の運営体制イメージ図

全学参加のプラットフォーム

“International Platform”

## 国際乾燥地研究教育機構

International Platform for Dryland Research and Education

機構長(学長)

副機構長(研究担当理事)

運営委員会

- 学長を「機構長」とし、全理事、学部長等参画の運営委員会による全学的組織運営

国際共同研究の推進  
世界第一線級教員の招聘

推進室

乾燥地研究センターの実績をベースに乾燥地・発展途上国等に関する研究を医・工・人文社会科学分野へ拡大・融合

運営体制の透明化

研究プロジェクト

【学際研究プロジェクト】

- 黄砂・環境修復PJ
- 農業・農村開発PJ
- 過疎地域・産業振興PJ
- 人間開発(社会,教育,医療)PJ
- 砂丘地保全・活用PJ

【超学際研究プロジェクト】

Furure Dryland

教育部門

- 教育プログラム(日本人対象)
- 研修プログラム(留学生対象)

研究力・教育力を結集

■全学より80名以上の研究PJ参画

■全学より約20名の教員を兼務配置

乾燥地研究センター

産学・地域連携推進機構

国際交流センター

農学部

工学部

医学部

地域学部

運営協議会(学外有識者含む)

### ■世界の乾燥地研究機関ネットワーク

- GNDRI(乾燥地研究機関グローバルネットワーク)
- CWANA+(アジア・北アフリカ地域乾燥地ネットワーク)

### ■世界第一線級研究機関

- 国際乾燥地農業研究センター(ICARDA)
- 米国・カリフォルニア大学デービス校(UC DAVIS)
- 米国・砂漠研究所(DRI)等

国内トップの乾燥地研究教育拠点へ

- 世界の乾燥地や開発途上国等の持続可能な開発に貢献
- 海外研究機関との連携強化
- 地元鳥取の地方創生

